

ジーエスワン

ジャパン

GS1 Japan News

一般財団法人 流通システム開発センター

GS1標準で、安全・安心、効率的なサプライチェーンを推進します

第29号

2024年12月



Verified by GS1とGS1事業者コード

情報確認サービスのご紹介 P.2

「GS1事業者コード決定メール」の取り組み P.3

GTINの設定、あれ？ どうだったっけ？ P.4

第19回 EPC RFID FORUM 開催 P.5

LINEヤフー×GS1 Japan

スマホレジで提案する次世代 POS P.6

第26回自動認識総合展に出展 P.7

Verified by GS1とGS1 事業者コード情報確認サービスのご紹介

— 事業者情報と商品情報の検索、確認 —

GEPIR サービス終了と Verified by GS1 への移行

GS1 は、20 年以上にわたりサービス提供してきた GEPIR（GS1 登録事業者情報検索サービス）を 2023 年 12 月末に終了した。GS1 Japan でも、国内向けの GEPIR サービスを 2024 年 9 月末に終了し、GS1 と同様に、よりサービス内容を強化した Verified by GS1（以下、VbG）へ移行した。

Verified by GS1 サービス開始 の背景と機能

近年、国境を越えた商品取引の増加により、商品を一意に識別する GTIN（Global Trade Item Number：商品識別コード）の重要性が高まり、さまざまな情報が溢れるようになったことで、ブランドオーナー発信の信頼できる情報が求められるようになってきている。このような背景から、事業者情報のみならず商品情報も必要であるとの声が、事業者から GS1 に多く寄せられるようになった。

これらの声に応えるため、GS1 は、世界各国の GS1 加盟組織から収集した事業者情報や商品情報などをグローバルなデータベースである GS1 Registry Platform（以下、GRP）に蓄積し、VbG を通じて利用者へ提供している（図 1）。

GEPIR の主目的は事業者情報の提供だったこともあり、商品情報としては商品名と商品分類のみを提供していた。一方 GRP では商品情報も積極的に収集しているため、GEPIR と比較して VbG 上では、検索、確認できる商品情報の件数自体も多くなっている。また、商品名と商品分類



図 1 VbG トップ画面

に加え、画像やブランド名、内容量なども確認可能となっている。

GS1 事業者コード情報確認サービスの概要

VbG の基本機能は、ウェブ画面上で GTIN などを入力して 1 回ずつ検索するものである。1 日 30 回の検索回数制限があるため、より効率的に多くの事業者情報の検索を行いたいという事業者向けに、GS1 Japan は 2024 年 10 月、事業者情報検索に特化した GS1 事業者コード情報確認サービスをリリースした。以下、二つの機能が実装されている。

① GS1 事業者コード一覧検索

事業者に貸与されている GS1 事業者コードの一覧を、GTIN や事業者名から、1 日 50 回まで検索し確認することができる（検索対象：GS1 Japan から GS1 事業者コードの貸与を受けている事業者）。

② GTIN 一括検索

最大 1000 件の GTIN が入力された CSV ファイルをアップロードすることにより、1 日 50 回まで GS1 事業者コードの貸与を受けている事業者の情報を一括で検索し、確認することができる（検索対象：GS1、GS1 Japan、GS1 加盟組織から GS1 事業者コードの貸与を受けてい

る世界各国・地域の事業者）。

①は、元々 GEPIR で特別に提供していた機能で、VbG では件数制限があり確認できないため、GS1 事業者コード情報確認サービスで同様の機能を提供している。一つの事業者が多くの GS1 事業者コードを貸与されている場合でも、全て表示される。

②は、前述の VbG の検索機能を強化したもので、VbG ではウェブ画面上で 1 回ずつの検索のみ行えるところ、こちらでは複数 GTIN にひも付く事業者情報が CSV ファイルを用いて一括で検索できるものとなっている（図 2）。



図 2 GS1 事業者コード情報確認サービス トップ画面

GS1 事業者コード情報確認サービスは、GS1 Japan から GS1 事業者コードの貸与を受けた事業者が利用申し込みを行い、利用料金を支払うことで利用できる。GS1 Japan のポータルサイトである My GS1 Japan からアクセスが可能である。

事業者情報、商品情報の検索には VbG を、事業者情報を効率的に検索、確認したい場合は GS1 事業者コード情報確認サービスを提供している。今後もあらゆるビジネスシーンで目的や頻度に応じ、GS1 Japan が提供する検索、確認サービスを利用いただきたい。

（データベース事業部 江田）

「GS1 事業者コード決定メール」の取り組み

— 貸与された GS1 事業者コードがいち早く確認できるように —

GS1 事業者コードは、商品識別コードの GTIN (JAN コード) や、組織や場所を識別する GLN などの GS1 識別コードを設定する際に必要となるコードである。日本国内では事業者からの申請に応じて、GS1 Japan が発番と管理を行っている。

従来は申請手続き完了後に郵送される「GS1 事業者コード登録通知書」で貸与された GS1 事業者コードが初めて分かる仕組みだったが、手続き完了後に送信されるメールでも GS1 事業者コードの確認ができるように改修を行い、2024 年 8 月 21 日にリリースした。以下、新規申請の流れに沿って紹介する。

GS1 事業者コード決定メール

GS1 Japan のホームページからメールアドレスを登録し、申請フォームへの入力と登録申請料の支払いを済ませると、入金確認から通常 3 営業日以内に「GS1 事業者コード決定メール」が送信される (図 1)。メールには GS1 事業者コードが記載されているため、受信後すぐに GTIN (JAN コード) など GS1 識別コードの設定やバーコード画像の生成ができるようになる。

既に GS1 事業者コードを持っている事業者がコードの追加申請を行う場合にも、メールアドレスが登録されていれば手続き完了後「GS1 事業者コード決定メール」が同様に送信される。

このメールに記載されるのは 1 コードのみのため、2 つ以上コードがある場合にはポータルサイト「My GS1 Japan」で残りのコードを確認することができる。これまで通り、後日郵送される「GS1 事業者

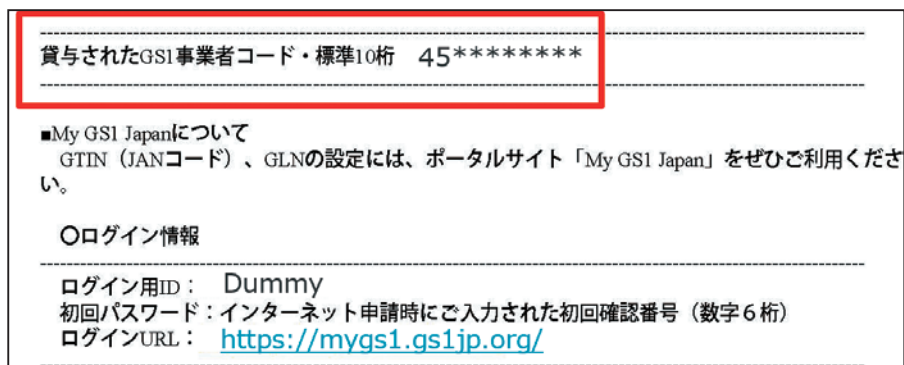


図 1 「GS1 事業者コード決定メール」のイメージ (本文一部抜粋)



図 2 「My GS1 Japan」トップメニュー

コード登録通知書」にて登録コードを確認することも可能である。

「My GS1 Japan」について

「My GS1 Japan」は GS1 事業者コードの登録事業者専用のポータルサイトで、GS1 事業者コードの確認だけでなく、更新や登録内容変更などの各種手続きや、インボイスのダウンロード、GTIN (JAN コード) の設定、管理やバーコード画像の生成などが行える (図 2)。

「GS1 事業者コード決定メール」に記載の「ID」と、新規申請時に申請者自身が決めて入力した「初回確認番号」をパスワードとしてログインすることができるため、新規申請手続き完了後すぐに利用を開始できる。ID とパスワードは「GS1 事

業者コード登録通知書」にも記載されているため、2024 年 8 月 20 日以前に登録済みの事業者はそこからログインできる。

GS1 事業者コードの各種手続きは紙で行えるものもあるが、「My GS1 Japan」を利用することにより、より短い期間で手続きを進められる他、支払い方法の選択肢も多い。実際に紙とインターネットでの GS1 事業者コードの申請割合を 2024 年 9 月の 1 ヶ月間で比べてみると、新規ではほぼ全件、更新では 7 割以上、登録内容変更では 9 割以上がインターネットで申請されている。

GS1 Japan では引き続き、利用者の利便性を重視したサービス提供に努めたい。

(コード管理部 田中)

GTIN の設定、あれ？ どうだったっけ？

ー GTIN 設定についてのよくある質問 ー

GTIN (JAN コード、集合包装商品コード) の設定にお困りではありませんか。このページでは、皆さまからよくいただく質問や、よくある誤解をまとめました。今更聞けない「あれ？」を解決しましょう。

GTIN は誰が設定するのですか？

原則、GTIN はその商品のブランドオーナーが設定します。ブランドオーナーとは、その商品の仕様について責任を持っている事業者のことを指します。商品の製造場所や製造者とは関係ありません。

組み合わせ商品やノンブランド品、中古品／整備済み商品では、ブランドオーナー以外がGTINを設定する場合があります。詳細は「GTIN 設定ガイドライン」を参照ください。

GTIN は再利用できますか？

GTIN の再利用はできません。近年は特に、ネット通販の拡大により、商品が長期にわたって販売、保持されるようになり、GTIN の再利用による商品情報の重複や商品誤認などの問題が起こりやすい環境が増えました。そのため、2019 年 1 月以降、一度使用した GTIN の再利用は不可となっています。

GTIN で原産国が分かるのですか？

GTIN は原産地や製造国を表すも

のではありません。商品が全く同一の場合、原産地や製造工場が異なっても GTIN は同じです。例えば、国内で製造していた商品の製造拠点を中国に移しても、その商品の仕様が同一の場合は、すでに設定していた GTIN をそのまま利用します。

商品の仕様を変えたのですが、GTIN はそのまま大丈夫ですか？

商品の仕様変更により GTIN を変更するには、下記の変更原則に 1 つ以上当てはまる必要があります。

■消費者や取引相手は、変更した／新しい商品を、以前／現在の商品と区別したいと考える。

■消費者や取引相手に対する規制／責任開示要件がある。

■サプライチェーンに影響がある重要な変更がある(例:商品の出荷、保管、受領方法)。

さらに、GS1 は GTIN が変更になる具体的な内容を「**10 の基準**」としてまとめています。詳細は「GTIN 設定ガイドライン」を参照ください。

GTIN の管理を正確に行わないと、どういったことが起きるの？

下記のようなサプライチェーン上の大きな混乱を生じさせることが懸念されます。

■ GTIN を正確に管理しておらず、すでに設定していた GTIN を違

う商品にも設定したため、精算時に価格が誤ってしまった。

■ 全く同じ仕様の商品に 2 種類の GTIN を設定しているため、商品管理が正しくできない。

■ GTIN を再利用してしまっていたため、昔の商品データとひも付いてしまい、正しく発注処理ができなかった。

GTIN の設定について学ぶには？

■ 当財団では「GTIN ってなに？」から発展的な GTIN の活用まで徹底的に学べる講座「**GTIN パーフェクトセミナー**」を開催しています。GTIN をこれから活用する方も、GTIN 設定ルールについて不安をお持ちの方も、さらには取引先へ GTIN の付番を依頼している方も、ぜひご参加ください。詳細は下記 QR コードよりアクセスしてください。

■ 2024 年 8 月に改訂した「**GTIN 設定ガイドライン**」では、新たに組み合わせ商品やノンブランド品、中古品／整備済み商品、バリエーションが多い商品への GTIN 設定方法も追加しています。EC サイトで商品を販売されている方や、中古品を販売されている方も、ぜひご一読ください。
(グローバル業界グループ 分部)

GTIN パーフェクト セミナー

1. まず、GTINを知ろう！

2. GTINを設定しよう！

3. こんなとき、GTIN変える？
~GTIN変更の10ルール~

4. こんな商品にもGTINは使える！
組み合わせ商品・ノンブランド品・中古品・整備済み商品・
バリエーションの多い商品へのGTIN設定

会場

GS1 Japan (東京・山一丁目駅 直結)
Zoom Webinar のハイブリッド開催

対象

・ GTINをこれから活用する方
・ GTINの設定ルールについて不安をお持ちの方
・ 取引先へGTINの付番を依頼している方 等

申込

詳細・お申込みはQRコードから



参加費
おひとり
¥5,500
(税込)

2025年
2月13日(木)
13:00-16:00

第 19 回 EPC RFID FORUM 開催

RFID のこれまでとこれから ～業界に広がる RFID 活用～

GS1 Japan は、2024 年 9 月 6 日、慶應義塾大学 Auto-ID ラボ・ジャパンと共同で第 19 回 EPC RFID FORUM を開催した。本年は EPC RFID FORUM の発足から 20 年目の節目の年であり、村井純教授による記念講演や、アパレル、家電、日用消費財の各業界における RFID 導入の現状と課題に関する講演に加え、講演者によるパネルディスカッションが行われた。当日は、203 名に参加いただき、盛会となった。

記念講演

安全で安心な新しいモノとインターネットの世界へ

慶應義塾大学 教授 村井純氏

AI の活用が広がる中、データの正確性や AI の生み出す結果の信頼性向上が重要となる。RFID はいかに“モノ”から正確なデータを取得するかと関わりが深く、デジタルデータを収集し、それを社会にどう役立てるか、生じるリスクとどう向き合うか、洗練された技術を積み重ねていく必要がある。RFID に関する技術は、よりよい未来を創るためであり、大きな期待を担っている。

アパレル業界における RFID の活用とその事例

(一社) 日本アパレル・ファッション産業協会 鎌田健司氏

(株)ゴールドウイン 澤田光弘氏

(株)オンワード樫山 浅井貴氏

日本アパレル・ファッション産業協会からは、国内アパレル業界での RFID 導入状況が紹介された。人手不足などを背景とし、各社で RFID の導入が進んでいるが、今後も協会として RFID 導入を推進すべく、有益な情報提供を行っていく。

ゴールドウインでは、当初直営店舗の棚卸や商品探索の作業効率化のため RFID が導入された。その後、物流でも、仕分けや検品に RFID が活用されるようになった。

オンワード樫山では、ゴールドウインとは対照的に、物流改革の一部として、物流拠点の集約などと並行して RFID 導入が進められた。

家電業界における RFID 導入検討会の現在地

(一社) 大手家電流通協会

(株)ヤマダホールディングス 長野毅氏

家電量販業の業界団体として 2022 年に法人化した大手家電流通協会。近年深刻化する人手不足や物流問題などを背景に、分科会で RFID タグの導入検討が進められている。

分科会には、メーカー、卸、小売、ベンダー、その他関連企業が参加し、各企業の発表を通じ理解度の向上が図られている。他業界や海外の事例なども参考に、リアルタイム在庫管理や共同物流など、さまざまなシーンでの RFID 活用を模索している。

RFID による日用消費財サプライチェーンの個品管理システムの社会実装に向けた検討

みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)

阿部一郎氏

みずほリサーチ&テクノロジーズおよびソフトバンク(株)は 2021 年よりスマートサプライチェーン構想の検討を開始し、2022 年に「スマートサプライチェーン構想の実現に向けた合同検討会」を設置した。メーカー、卸、小売を中心に、延べ 11 社で消費者の商品利用環境を含むサプライチェーン全体を通した RFID 利活用の検討をしている。

RFID 導入に向けた課題とその対応策の分析を進め、PoB (Proof of Business) の作成を進めていく。

パネルディスカッション RFID のこれまでとこれから

3 名の講演者にご登壇いただき、各業界の立場でコメントをいただいた。いずれの業界でも、人手不足に伴う業務効率化のための選択肢として、RFID に期待がかかっている。

各講演資料は、一部を除き EPC RFID FORUM 会員専用ページで公開している。

(<https://www.epc-rfid-forum.jp/event/forum2024.html>)

(RFID・デジタル化推進グループ
笹瀬)



写真 会場の様子

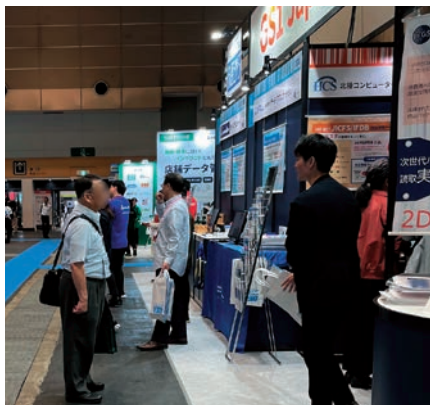
LINEヤフー×GS1 Japan スマホレジで提案する次世代 POS

ー リテールテック大阪 2024 出展報告 ー

2024 年 10 月 17 日と 18 日の 2 日間、インテックス大阪で「リテールテック大阪 2024」が開催された。

本展は日本経済新聞社が主催する「リテールテック JAPAN」の大阪版として 2021 年より開催されている。

今回、GS1 Japan ブースでは、大きく分けて、関連ベンダーの企業展示、2D in Retail のデモ展示を行った。関連ベンダー企業の展示として、2023 年同様に流通 BMS ブースへ GJP 会員企業 5 社が出展した。



関連ベンダー企業の展示の様子

LINEヤフー(株)：スマホレジで体感する次世代 POS

2D in Retail デモ展示では、新たな試みとして、LINEヤフーとの共同デモンストレーションを実施し、多くの来場者が興味を示していた。LINEヤフーが提案するスマホレジでは、GS1 二次元シンボル（以下、2D シンボル）を活用し、これまでの POS レジではできなかったさまざまなサービスを展開している。

個品での 2D シンボル活用については、本誌第 28 号(2024 年 9 月号)でも紹介しているように、国内外でその活用が進んでいる。今回は LINEヤフーがその活用事例として、四つの機能を備えたスマホレジを発表した。

① 期限切れ製品の販売防止

スマホレジで読み取られた商品に表示されている 2D シンボルには、期限情報が入っているため、POS レジで読み取ることで、期限切れ製品の販売を確実に防止することができる。

② 自動値引きやポイント付与で実現する食品ロス削減

スマホレジで読み取られた期限情報と顧客データをひも付けることにより、自動値引きはもちろんのこと、ポイント付与でも食品ロス削減が実現できる。特に、ポイント付与の場合、顧客の再来店を促進できる。

③ 顧客へのアレルギー情報の提供

LINE を活用することにより、事前に登録した消費者のアレルギー情報と商品のアレルギー情報をひも付け、対象の商品をスキャンした場合はアラートを出すことが可能である。

④ 商品の原産地情報表示

同一の商品（GTIN）でも原産地が異なる場合、そのデータを 2D シンボルに表示することにより、明確な原産地・トレーサビリティ情報を消費者に提供することが可能である。

本デモは、次の QR コードからアクセスし、お手持ちのスマホでも体験することが可能である（LINE

アプリ必須）。また、本取り組みの背景を LINEヤフーと当財団職員が語るインタビュー記事も紹介されている。ぜひ参照いただきたい。

お手持ちのスマホで
デモ実践！



LINEヤフー×GS1 Japanが
語るサプライチェーンDX



展示会規模は着実に拡大、出展社数も増

コロナ禍の 2021 年に定期開催がスタートした本展示会は、回を重ねるごと同時開催の展示会や出展企業数も増加している。ただ、残念なことに今回の来場者数は前回と比べて約 2000 人の減少となった。このような状況下で出展会員様の中から、「商談につながりそうな案件が発掘できた」という話を伺えたのは幸いであった。

GS1 Japan は、今後もリテールテックに出展スペースを準備する予定である。自社の製品やサービスをアピールする場として活用いただきつつ、引き続き GS1 Japan 推奨の標準の普及拡大に協力いただければ幸いである。

(GS1 Japanパートナー会員制度事務局)



デモブースの様子（左：GS1 Japan、右：LINEヤフー(株)）

第26回自動認識総合展に出展

ー 業界の進化を支える GS1 標準を紹介 ー

GS1 Japan は、2024 年 9 月 11 日から 3 日間にわたり東京ビッグサイトで開催された、国内唯一の自動認識技術とソリューションの専門展示会である「第26回自動認識総合展」に出展した。例年通り当財団は協賛し、開会式では当財団の豊永会長がテープカットに参列した。

当財団のブースでは、推進している GS1 二次元シンボルや EPC/RFID に関するパネルや資料を展示し、多くの来場者に関心を寄せていただいた。

現代の物流課題に応える GS1 標準

近年、サプライチェーンでは、物品情報の正確な把握と物流の効率化が重要な課題となっている。その解決策の一つとして、RFID や二次元シンボルが注目されている。これらの自動認識技術は、多様な情報を迅

速かつ正確に取得でき、作業負担の軽減や環境負荷の削減にも寄与している。また、物品の追跡精度や在庫管理の向上により、リコ

ール対応の迅速化や物流の効率化、顧客サービスの向上にもつながっている。

さらに、GS1 標準のコード設定を導入することで、業種や国境を超えた情報の整合性が確保され、コードの重複の解消やデータ交換の手間を省くことができる。これにより、サプライチェーン全体の透明性確保や、企業の信頼性向上に加え、物流課題の解決が期待されている。



テープカットの様子 当財団豊永会長（右から二人目）

今回の展示会では、多くの来場者が当財団のブースに足を運んでいただき、GS1 標準に関心を持っていただけたことを実感し、各業界での標準化への期待が高まっていることがうかがえた。

今後も GS1 Japan は、業界全体の生産性向上や安全性のさらなる向上に一層貢献していきたい。

（広報・ブランディング推進室）

オープンセミナー2025

広げよう 活用の輪 –GS1で紡ぐより良い医療–

日時：2025 年 3 月 11 日（火）13：00-17：00

会場：KFC Hall（東京都墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル）

および Web同時配信

※3月14日-4月18日 オンデマンド配信予定



参加
無料

医療におけるGS1バーコードの利活用に関する動向を紹介します!!

登壇予定者 ※順不同

野村 由美子（厚生労働省 医薬局 医薬安全対策課 課長）
八瀬 文克（愛知県がんセンター病院 医療安全管理部 医療機器管理室 臨床工学技士）
森實 篤司（ホスピグループ腎透析事業部 臨床工学部 統括部長 新生会第一病院）
山中 理（市立大津市民病院 医薬品情報管理室長）
新井 亮（イオンリテール(株) H&BC本部 調剤部 開発DXグループ システム担当）
辻岡 真（イオンリテール(株) 西兵庫事業部 エリア薬剤師）

臼杵 尚志（香川大学医学部地域医療再生医学講座） ※パネルディスカッション座長

詳細・お申込み
はこちら





Discover 2025

人手不足対応、安全性向上、消費者への情報提供、
規制対応・・・どこまでもビジネスは試練の連続
生きたグローバル標準“GS1”はそんな皆様のパートナーです

これからの時代に、さらに一步先に、
私たちGS1 Japanが次世代のビジネスヒントを提供します

GS1を発見し、
そしてGS1から次のビジネスを発見してください！

DAY1

まずは知ろう、
GS1とはなにか？

GS1標準はここから始まった
「GTIN」と「JANコード」

ゲスト
スピーカー
独立行政法人
日本貿易振興機構(ジェトロ)

GS1の真骨頂！
「GS1識別コード」と「GS1アプリケーション識別子」

安全で効率的な医療の実現のために
ヘルスケア分野におけるGS1標準の利用動向

Ambition2027! グローバルで導入が進む
2D in Retailとは？

活用分野が一気に拡大！
EPC/RFIDの真価

ゲスト
スピーカー
・ 株式会社ゴールドウイン
・ 日建リース工業株式会社

DAY2

ベンダー企業必見！
GS1標準のルールブックと使えるツール

国内標準EDI
「流通BMS」

GS1標準×WEB
「GS1 Digital Link」

GS1標準だからこそまでできる、物流可視化

ゲスト
スピーカー
味の素株式会社

グローバルに広がるGS1の商品情報データベース、その活用メリットを探る

ゲスト
スピーカー
イオン株式会社

1月20日-21日

GS1 Japan (東京メトロ・都営地下鉄各線 青山一丁目駅 直結)
Zoom Webinar のハイブリッド開催

参加無料 詳細・お申し込みはQRコードより



発行元：

GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター)
〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 9F
T 03-5414-8502
www.gs1jp.org



GS1 Japan
一般財団法人 流通システム開発センター

© GS1 Japan

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。